



コンクリート建設廃材を循環型建設資源にする

『型枠リースシステム』

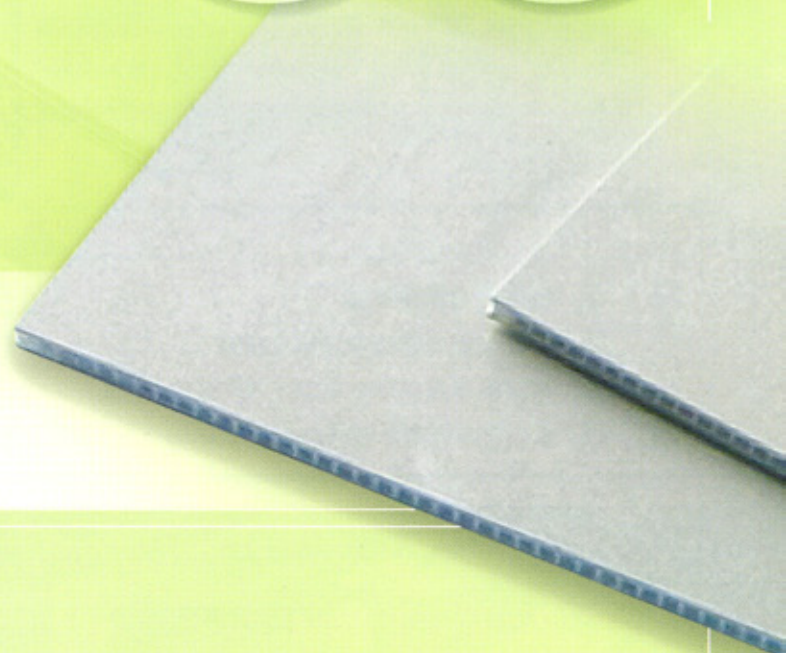
Reuse

Reduce

Recycle

リサイクルボード「型丸」

国土交通省 NETIS 登録済
新技術情報提供システム KT-110076-A



人・夢・技術

株式会社 長 大

コンクリート建設廃材を循環型建

「型枠リリースシステム」5つの特徴

作業性における特徴

環境性における特徴

加工手間を
軽減する
サイズオーダー
システム

砂目地防止加工
による
補修手間の軽減

型枠の3R
を実現

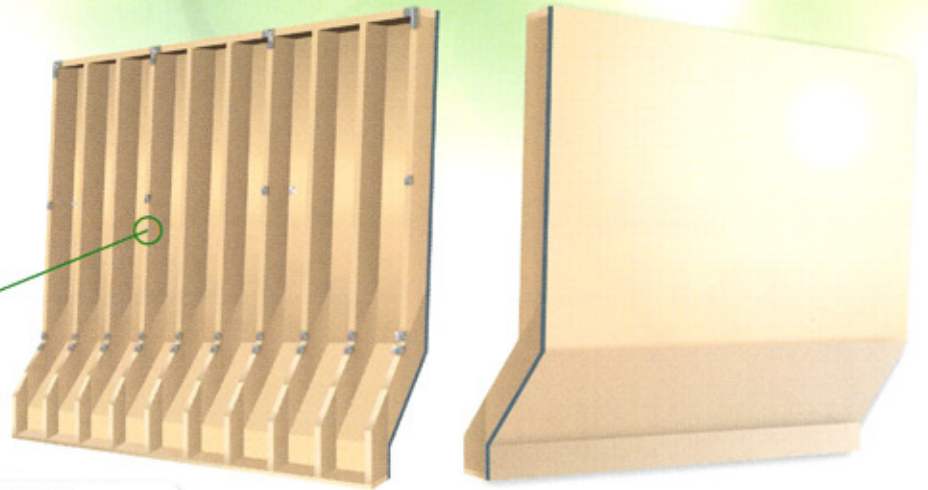
現場での
ゼロエミッション
に貢献

栈木には
間伐材を使用

型枠パネルの基本構造

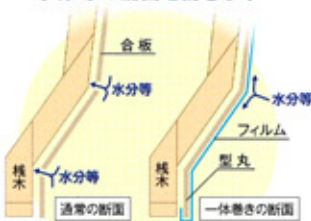
ご要望の形状に加工した型枠を現場へ納品いたします。
型枠は、栈木を取り付けた「型枠パネル」又は「堰板のみ(型丸)」を選択いただけます。

間伐材栈木

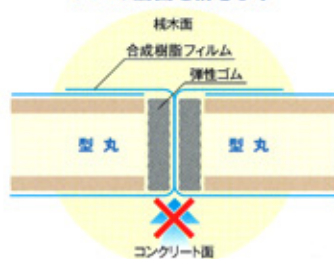


砂目地防止加工

フィルム一体巻きで
水分等の漏出を防ぎます

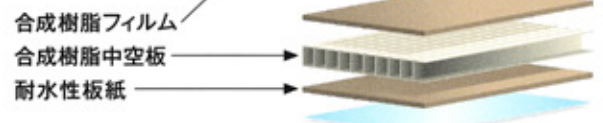


弾性ゴムにより
ノロの漏出を防ぎます



特許出願中：特願2011-271905

型丸の断面構成

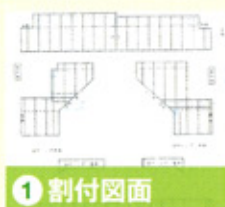


特許出願中：特願2010-110027

型丸
の
特
徴

1. 剥離剤の塗布不要
2. 軽量の合成樹脂中空板を採用
3. 超耐水性板紙は古紙100%のECO商品
4. 合板との併用が可能な板厚12mm
5. フィルムの張替えにより再利用可能なリサイクル商品
6. 端材や損傷部位は再資源化
7. 隙間テープが不要な弾性ゴムをボード端面に標準装備
8. 熱伝導率が低く、脱型までベストな養生環境を保持

型枠リリースシステムの流れ



設資源にする『型枠リースシステム』

『型枠リースシステム』ゼロエミッションの仕組みと流れ



注) 廃プラ・古紙を原料とした固形化燃料



リサイクルボード「型丸」品質試験表

試験項目		単位	数値	試験方法	備考
厚さ		mm	12 ± 0.5	JIS A 5905	注1) 耐水性板紙を合成樹脂フィルムで包んだ状態で計測
比重		g/cm ³	0.44		
吸水率(24h)	耐水性板紙 注1)	%	1.98		
	型丸 注2)	%	0.48	換算値	注2) 耐水性板紙の試験値と合成樹脂中空板の密度から換算
曲げ強さ	縦	N/mm ²	18.2	JIS K 7221-2	
	横	N/mm ²	17.0		
曲げ弾性率	縦	N/mm ²	2300		
	横	N/mm ²	2100		
圧縮強さ		N/mm ²	2.96	JIS K 7181	
ホルムアルデヒド放散量		mg/L	検出限界未満	JAS 注3)	注3) 「合板の日本農林規格」に準じて計測
熱伝導率(10℃)		W/mk	0.086	JIS A 1412-2	

在来方式との比較

比較項目 製品	品質性			環境性			施工性		
	パネル重量	コンクリートの 仕上がり	材質	運搬量 (m ³ /4t車)	現場廃材処理	リサイクル	施工性	現場工期	剥離剤
型丸 型枠パネル	約15kg/m ²	合板より良好	合成樹脂中空板 +耐水性板紙 +間伐材	約300m ³	当社回収	ダンボール・ 腐プラスチック 資材に再生	合板と同等 (特殊技能不要)	合板と 同等以下	不要
プラスチック 型枠パネル	約17kg/m ²	合板より良好	プラスチック	約300m ³	産廃処理 または 自社回収	製鉄燃料 または 同製品に再生	合板と同等 (熟練を要する)	合板と 同等以下	必要
鋼製 型枠パネル	約32kg/m ²	合板より良好	鉄鋼・ ステンレス鋼	約120m ³	産廃処理 (鉄くず)	鋼材料に再生	型枠が重く 作業性に劣る	合板と 同等以下	必要
合板 型枠パネル	約17kg/m ²	—	南洋材・ 針葉樹	約300m ³	産廃処理	—	—	—	必要



株式会社 長大

人・夢・技術

〒114-0013 東京都北区東田端2-1-3

エコプロダクツ事業部

Tel:03-3894-3228 Fax:03-3894-3271

E-mail: ecopro@chodai.co.jp

www.chodai.co.jp

お問い合わせ先